

環境未来都市や横浜スマートシティプロジェクト等の国内外への展開について

温暖化対策統括本部では、環境未来都市や横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）をはじめとする取組を海外へ発信するとともに、これまで培ってきた本市の経験や、ノウハウの国内外への展開を進めています。

1 国際会議等を通じた発信

今年度は、11 件（海外：8 件、国内：3 件）の国際会議等で情報発信を行っています。

（１）国際水素・燃料電池パートナーシップ政策フォーラム（５月）

燃料電池・水素の利活用に関する戦略について議論するフォーラム。

ハマウィングを活用したCO₂フリー水素活用プロジェクト等の本市水素施策を発信。

- ・開催地：アメリカ・バークレー市
- ・主催：国際水素・燃料電池パートナーシップ
- ・参加都市等：米国エネルギー省、パリ市等海外都市、海外企業、経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)など



<米国エネルギー省との質疑>

（２）ＩｏＴビジネスプラットフォーム会議（５月）

ＩｏＴ等を活用している企業などを対象とした国際会議。

スマートシティのセッションにおいて、YSCPの取組を発信。

- ・開催地：フィリピン・マニラ市
- ・主催：インダストリープラットフォーム社
- ・参加都市等：フィリピン科学技術省、メトロ・セブ、海外企業・研究機関など



<会議での情報発信>

（３）国際カーボンニュートラル都市ネットワーク会議（６月）

温室効果ガス削減 80%以上の目標を掲げる世界 20 都市で構成される会議。

YSCP、水素の利活用等の本市の先進的事例を発信。

- ・開催地：ノルウェー・オスロ市
- ・主催：国際カーボンニュートラル都市ネットワーク
- ・参加都市等：ロンドン市、ニューヨーク市等 20 都市



<参加者とのディスカッション>

(4) 持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム（ISAP2016）（7月）

アジア新興国が直面する都市課題と目指す都市像を共有する国際会議。

新興国諸都市に対して、都市づくりに関する本市の知見を発信。

- ・開催地：横浜市
- ・主催：公益財団法人地球環境戦略機関（IGES）
- ・参加都市等：環境省、富山市等国内6自治体、
バンコク都等海外3都市、46国際機関・研究機関



<フォーラムでの情報発信>

(5) 第6回環境未来都市構想推進国際フォーラム（8月）

世界共通の課題である環境問題・超高齢化の課題解決及び2015年9月に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発のための目標）の実現に向けた、環境未来都市の新たな展開について議論するフォーラム。本市における高齢化への対応や、低炭素交通などの取組を発信。

- ・開催地：横浜市
- ・主催：内閣府
- ・参加都市等：アジア開発銀行等14国際機関・研究機関
富山市等9都市、サンフランシスコ市等
2海外都市



<国際フォーラムでの情報発信>

(6) 世界大都市気候先導グループ（C40）ワークショップ（9月・10月）

民間建築物の省エネや、地域エネルギーの活用に着目した都市を対象としたワークショップ。YSCP等の取組を発信。

ア 民間建築物省エネ分科会

- ・開催地：アメリカ・ニューヨーク市
- ・主催：世界大都市気候先導グループ
- ・参加都市等：ヒューストン市、ヨハネスブルグ市等11都市

イ 地域エネルギー分科会

- ・開催地：スウェーデン・ストックホルム市
- ・主催：世界大都市気候先導グループ
- ・参加都市等：バンクーバー市、パリ市等11都市



<ワークショップでの取組発信>

(7) 気候変動枠組条約第 22 回締約国会議（COP22）（日本パビリオン内）（11 月）

日本パビリオンで開催された気候変動及び SDGs に対する都市の取組に関するパネルディスカッションにおいて、環境未来都市の実績と、国や民間企業との連携による本市施策の海外展開等を発信。

- ・開催地：モロッコ・マラケシュ市
- ・主催：環境省、経済協力開発機構（OECD）
イクレー持続可能性を目指す自治体協議会
- ・参加都市等：東京都、パリ市、オスロ市



<パネルディスカッション>

(8) スマートシティエキスポ世界会議（11 月）

スマートシティに関する世界最大規模の国際会議。都市の発展とレジリエンスのセッションにおいて、YSCP等の取組を発信。

- ・開催地：スペイン・バルセロナ市
- ・主催：バルセロナ国際見本市協会
(フィラ・デ・バルセロナ)
- ・参加都市等：モスクワ市、カサブランカ市、
ブエノスアイレス市等 600 都市
マイクロソフト社等 591 民間企業・団体



<エキスポでの情報発信>

(9) 第 5 回アジアスマートシティ会議（11 月）

アジア新興国のリーダーが、スマートシティの技術と知見の意見交換を行う会議。本市のこれまでのまちづくりや、環境未来都市の取組を発信。

- ・開催地：横浜市
- ・主催：横浜市
- ・参加都市等：アジア開発銀行等 13 政府・国際機関、
セブ市、ダナン市、バンコク都等 27 都市
外務省、環境省、16 民間企業・団体



<会議参加者>

(10) 世界大都市気候先導グループ（C40）メイヤーズサミット（11 月）

世界大都市気候先導グループの首長級会議。加盟都市の優れた取組を表彰する C40 シティーズアワードの授賞式で、YSCPが「クリーン・エネルギー」部門を受賞。

- ・開催地：メキシコ・メキシコ市
- ・主催：世界大都市気候先導グループ
- ・参加都市等：パリ市、ニューヨーク市等 69 都市



<授賞式の様子>

2 国内への展開

YSCP 参画企業とともに、これまで培った経験を踏まえ、事業者との調整方法やエネルギーマネジメントに関するノウハウを水平展開。

(1) 福島県・会津若松市

再生可能エネルギー（雪国型メガソーラー発電所、風力発電など）の導入と併せて、エネルギーコントロールセンターを構築し、地域におけるエネルギーの見える化を進め、必要に応じ家庭に向けたデマンドレスポンスも行い、エネルギーの最適化を図る。



<会津若松市長との意見交換>

(2) 宮城県・石巻市

防災拠点となる公共施設に太陽光パネルや蓄電池、エネルギーマネジメントシステムなどを導入し、平常時は「環境にやさしい低炭素なエコタウン」、災害時には「灯りと情報が途切れない安全・安心なまちづくり」を目指している。



<石巻市長との意見交換>

(3) 宮城県・山元町

災害公営住宅の屋根を発電事業者に貸し付ける太陽光発電の設置を推進。発電事業者が各戸の発電量及び使用電力量を遠方監視することで高齢者の見守りにも繋がる取組を推進。

(4) 静岡県・富士市

平成 27 年 3 月に連携協定を締結。豊富な地下水を活かした製紙工場などが集積しており、排熱の有効活用を中心に、BEMS などのエネルギーマネジメントシステムを活用したスマートシティの推進に取り組んでいる。

3 国外への展開

企業や国際機関と連携し、温暖化対策のノウハウを海外に展開するための活動を実施。

(1) タイ・バンコク都

国際協力機構（JICA）及び庁内関係局と連携して策定した「バンコク都気候変動マスタープラン」の本格的な実施に向けた支援を行うと共に、市内企業が保有する低炭素技術の展開を目指す。

日本政府が進める二国間クレジット事業（JCM）について、市内企業（株式会社ファインテック及び横浜港埠頭株式会社）が採択を受けたことを踏まえ、実施に向けた調査の支援を開始。



<バンコク都との協議>

(2) 姉妹都市・パートナー都市

フランス・リヨン市、アメリカ・サンディエゴ市、カナダ・バンクーバー市、ドイツ・フランクフルト市と気候変動分野、スマートシティ分野、適応策、水素の取組などの意見交換等を実施。

4 視察者の受入等

今年度は、37 件（324 名）の視察受入や、フォーラム等を通じた講演も行い、環境未来都市や、Y S C Pについて広く発信。

(1) エストニア共和国（4 月）

ターヴィ・ロイヴァス首相ほか 16 名



<エストニア首相との面会>

(2) ドイツ連邦議会独日議員連盟訪日団（10 月）

ドイツ連邦議会独日議員連盟訪日団 7 名



<ドイツ連邦議会議員団による視察>

(3) イラン・イスラム共和国（11 月）

ハミッド・チットチアン エネルギー大臣ほか 14 名

5 今後の展開

- ・パリ協定の採択を踏まえた気候変動対策を推進していくうえで、本市の取組の更なる発信と他都市との知見の共有が不可欠。
- ・今後も、国際局などの関係局や、連携企業と共に、国際機関等とのネットワークを強化し、環境未来都市やY S C P等の国内外への展開を推進。